

2005年3月期 第3四半期決算概要



NIPPON PAPER
GROUP

2005年 1月31日

株式会社日本製紙グループ本社



2005年3月期 第3四半期(2005/3/3Q) 決算

(2004年10月1日～2004年12月31日)

- (1) 業界動向
- (2) グループ トピックス
- (3) 連結業績
- (4) 連結業績見通し

(2004年4月1日～2005年3月31日)

● (1) 業界動向 ①国内出荷高



紙パ業界

2004年10月～2004年12月品種別国内出荷高

	国内出荷高(千トン)	前年同期比
新聞巻取紙	882	2.0%
非塗工印刷用紙	662	0.9%
塗工印刷用紙 ※	1,612	4.6%
情報用紙	388	▲3.9%
その他の紙(包装・衛生・雑種紙等)	1,038	1.2%
紙計	4,582	2.0%
板紙計	3,089	▲0.1%
紙・板紙計	7,671	1.2%

※ 塗工印刷には微塗工紙を含む。 出所: 日本製紙連合会 (12月は暫定値)

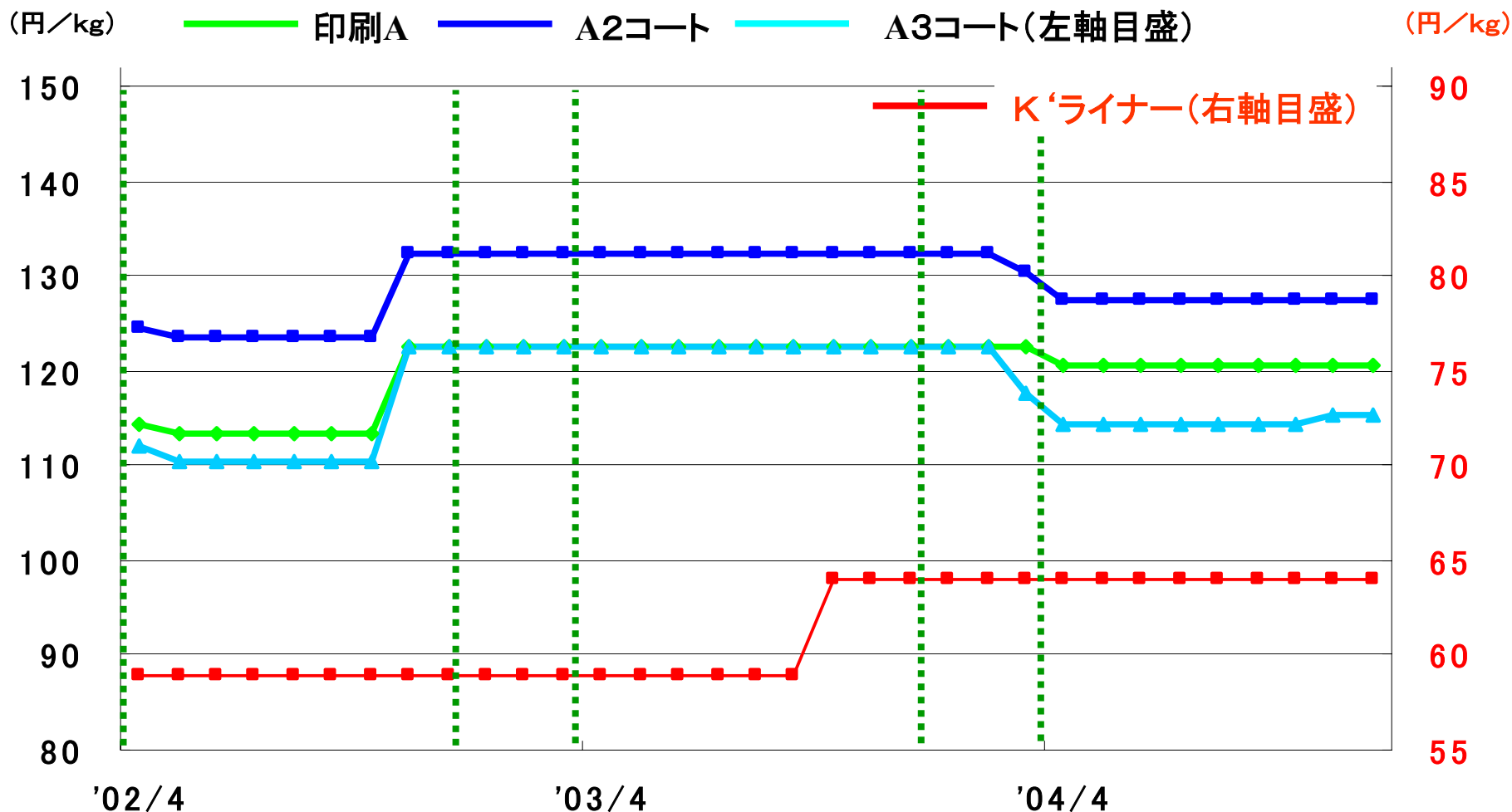
All Rights Reserved, Copyright (C) 2005 Nippon Paper Group, Inc.

● (1) 業界動向 ② 売価推移



紙パ業界

洋紙・板紙の価格動向(2002年4月~2004年12月)

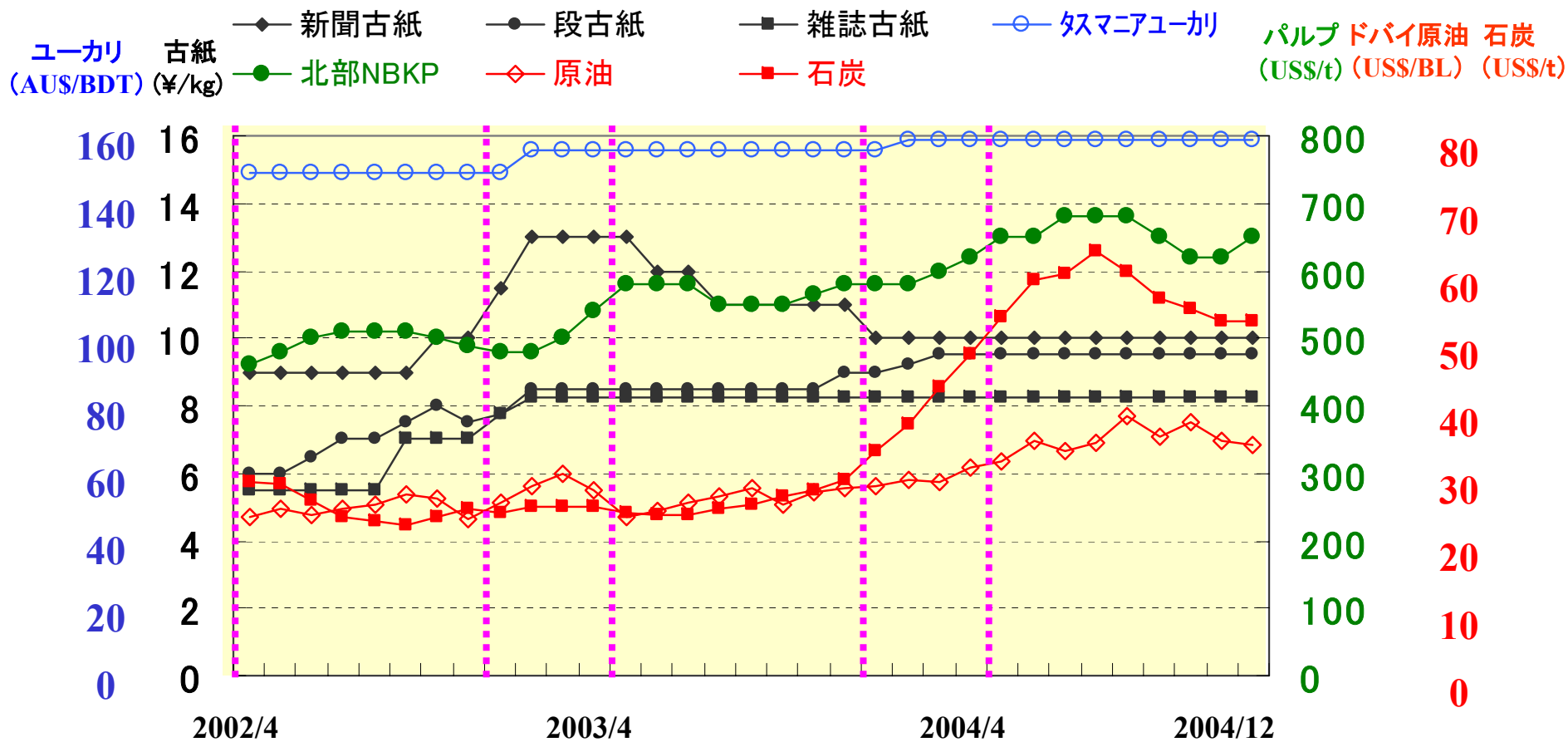


(1) 業界動向 ③ 原材料市況推移



紙パ業界

主要原燃料の価格動向(2002年4月~2004年12月)



出所: 古紙再生促進センター、Pulp&Paper Week、
原油=Platts、石炭=Barlow Jonker Index

第3四半期のトピックス

- 2004年10月 : 持株会社名を「日本製紙グループ本社」に変更
 : 日本製紙機能材料本部を日本製紙ケミカルに統合
 : 釧路IPP事業営業運転開始
- 11月 : 日板パッケージ(株)とトーカンパッケージングシステム(株)
 (東罐工業(株)子会社)の合併(2005年10月予定)基本合意を発表
 : 石巻工場のバイオマスボイラー新設を発表
- 12月 : 浙江景興日紙中芯原紙抄紙機の試運転開始
 (1月より営業運転開始)

会社	事業所	主要設備投資	投資 (億円)	運転開始
日本製紙	釧路	電力卸供給設備設置(IPP設備)	98	'04/10月

● (3) 連結業績 ①概要



連結業績

(単位:億円)	2004/3月期 第3四半期	2005/3月期 第3四半期	2005/3月期 第3四半期(累計)
<売上高>	3,043	2,976	8,953
<営業利益>	134	164	508
<経常利益>	115	159	486
<当期純利益>	69	66	170

●(3) 連結業績 ②洋紙・板紙販売実績

(千トン)	2004/3 3Q (A)	2005/3 3Q (B)	前年同期比 (B) ÷ (A)
新聞用紙	352	346	▲ 1.6%
非塗工紙	188	189	0.5%
塗工紙	490	496	1.2%
情報用紙	165	165	0.0%
包装・雑種紙他	164	155	▲ 5.4%
国内洋紙計	1,358	1,350	▲ 0.6%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	113	117	2.8%
洋紙合計	1,471	1,466	▲ 0.3%
段ボール原紙	364	363	▲ 0.4%
紙器用板紙他	104	104	0.1%
国内板紙計	469	467	▲ 0.3%
板紙輸出	11	9	▲ 17.8%
板紙合計	479	476	▲ 0.7%
紙・板紙合計	1,951	1,943	▲ 0.4%

●(3) 連結業績 ③セグメント別業績



(億円)

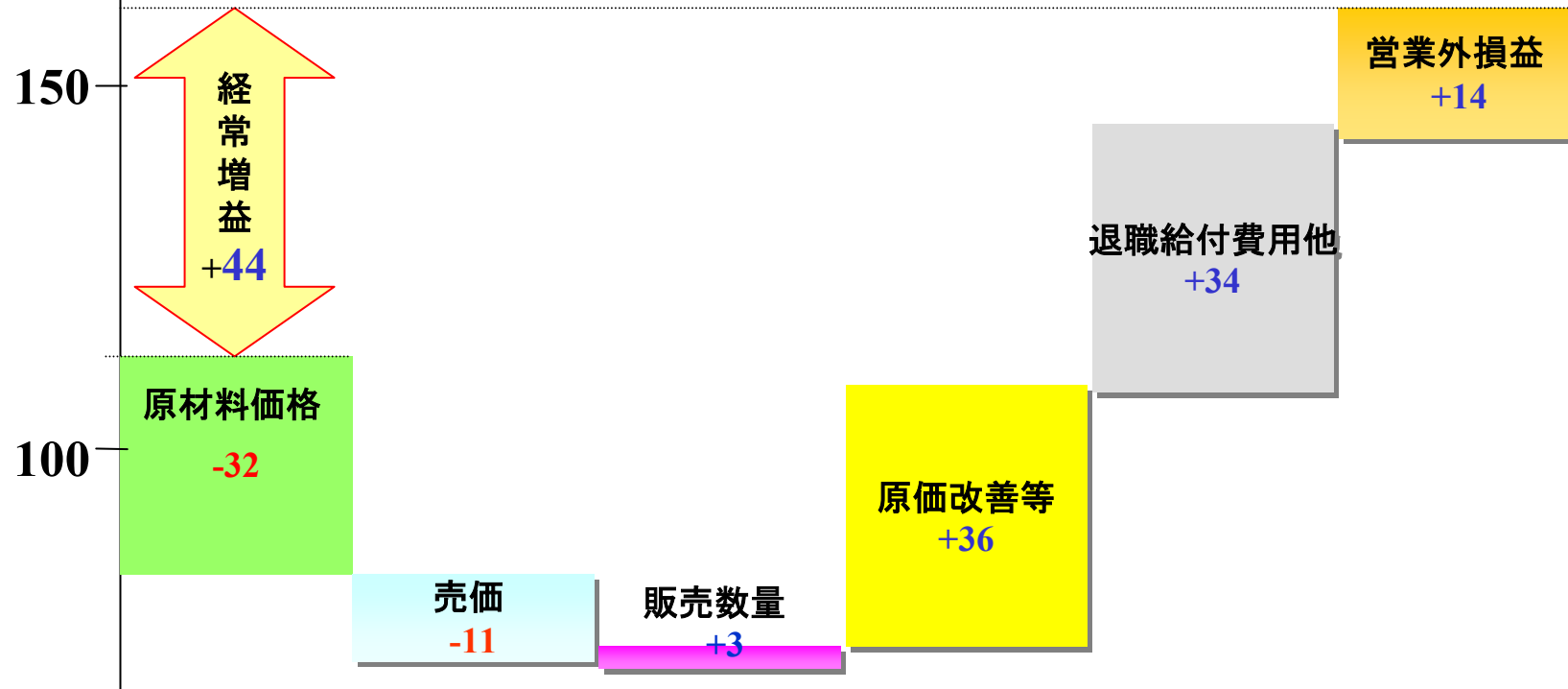
	売上高		営業利益		コメント(前年比較)
	2004/3 3Q	2005/3 3Q	2004/3 3Q	2005/3 3Q	
紙パルプ事業	2,284	2,213	99	118	洋紙:コストダウン及び値上げで増益 板紙:復元した価格を維持 家庭紙:数量確保するも価格下落
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	314	333	15	26	機能材料事業、段ボール事業が好調
木材・建材・土木 関連事業	249	239	7	6	
その他の事業 (飲料、物流等)	195	191	14	14	前年並みで推移
合計	3,043	2,976	134	164	

[参考資料]

2004/3/3Q 対 2005/3/3Q 比較

經常利益増益 44億円 (115億円 → 159億円)
営業利益増益 30億円 (134億円 → 164億円)

經常利益
(億円)



●(3)連結業績 ④貸借対照表

(単位:億円)

貸借対照表	'04/3末	'04/12末	差異	コメント
現預金	218	170	▲ 48	手元資金圧縮(CMS効果)
受取手形・売掛金	2,608	3,030	423	期末休日影響及び債権売却減少
棚卸資産	1,346	1,367	21	
その他流動資産	594	567	▲ 27	
有形・無形固定資産	9,445	8,971	▲ 473	
投資その他資産	2,162	2,139	▲ 23	
資産計	16,374	16,246	▲ 128	
有利子負債	8,423	8,058	▲ 365	
その他負債	3,429	3,550	121	期末休日影響
少数株主持分	226	237	11	
株主資本	4,296	4,401	105	

● (4) 連結業績見通し



2005年3月期の業績見通しにつきましては
11月12日発表数値から変更ございません

(単位:億円)	通期 見通し	(参考)2004年3月期 通期実績
<売上高>	11,900	11,926
<営業利益>	690	557
<経常利益>	650	507
<当期純利益>	260	243

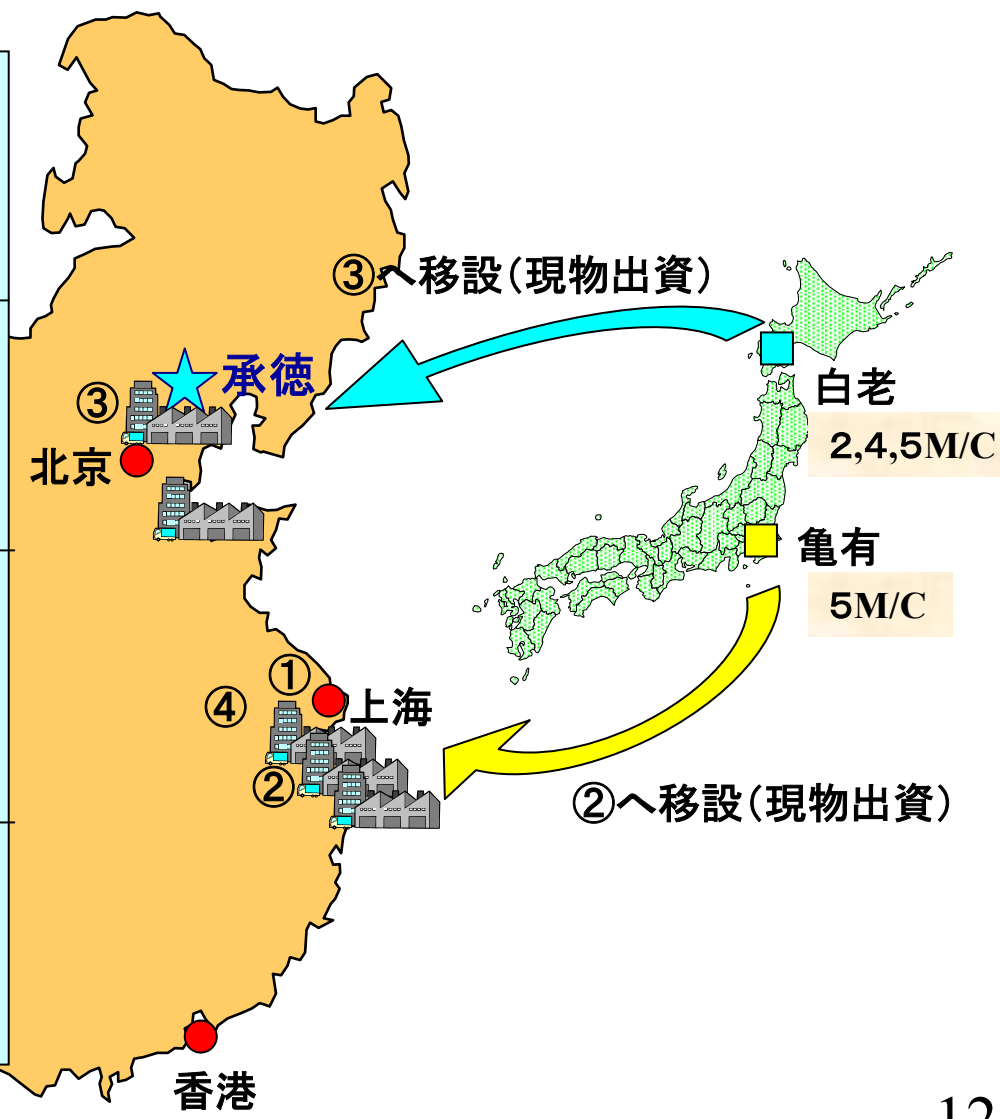
推進中の中国事業のトピックス

- ①日紙国際貿易(上海)有限公司
中国における販売拠点として営業活動を開始
事業内容:輸入・販売拠点

- ②浙江景興日紙有限公司
中芯原紙抄紙機の営業運転を開始
事業内容:中芯原紙の生産(生産能力15万t)

- ③承德日紙有限公司
合弁相手の現状を把握し、今後のプロジェクトの方向性を検討中
事業内容:非塗工紙の生産(生産能力15万t)

- ④怡楽包装(蘇州)有限公司
生産開始に向け工場建設中
事業内容:飲料用紙容器の生産



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
また当資料の無断掲載はこれを禁じます。

(株)日本製紙グループ本社